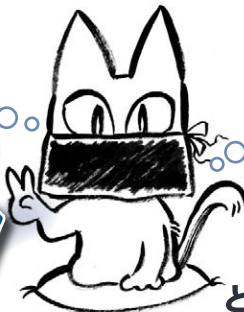


上下の絵を見くらべて、
まちがいを8カ所見つけて
ください。

まちがいがし クイズ



とうふねこ座：市川雅子 画

応募方法

ハガキまたはファクスに、①答え(右の絵に○をつける)と②住所・③氏名(ふりがな)・④年齢・⑤電話番号・⑥広報紙の感想・ご意見を書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり6月号に掲載しますので、ご了承ください。

送り先

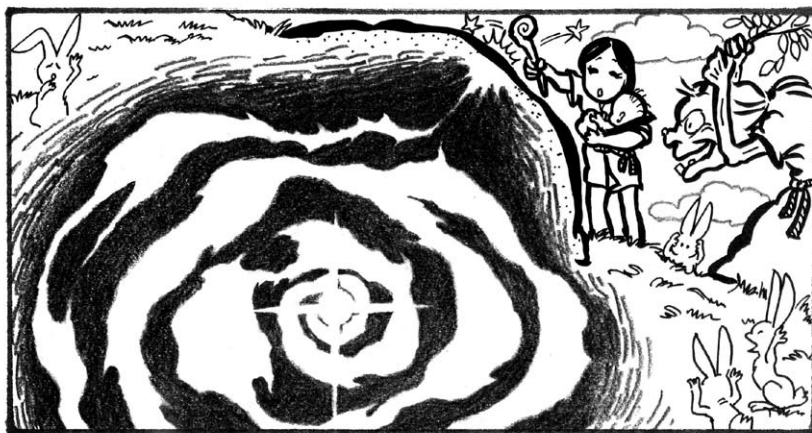
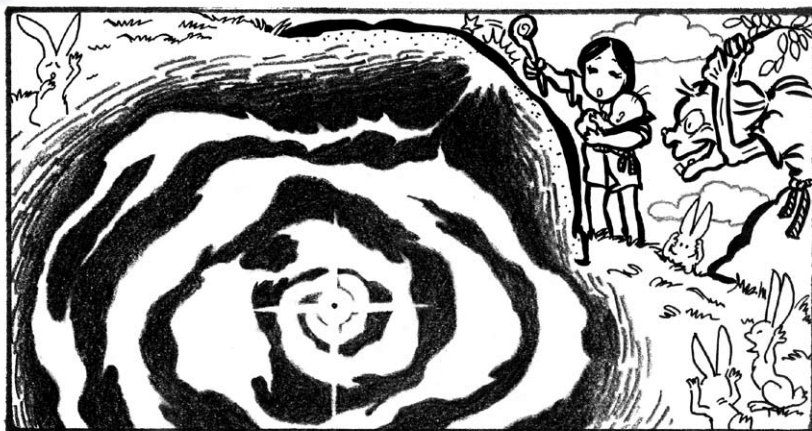
〒443-8601 旭町17番1号
企画広報課「クイズ」係
FAX66♦1190

応募締切

4月17日(火)

プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で10人の方にクオカードもしくはラグーナの湯無料利用券をプレゼントします。なお、賞品は6月初旬に郵送します。



「どんどん岩」(相楽町)

むかし大塚に丹野の山があり、頂上にはストーンサークルが粗まれ、東側には切り立った磨岩がありました。この磨岩の東南にどんどん岩と呼ばれる丸い岩がありました。

ある日、ストーンサークルの周りに丹野・山神の村人たちが集まっていた。サークルの中では、真っ白い髪の巫女(みこ)様が怪しい呪文と踊りを続けていました。しばらくして巫女(みこ)様は、ヒタリと止まると、おこやかに

「神のお告げじゃ。今年は豊作じゃ。ほーい」と言いました。

山にささゆりが咲き誇るころ、一人の美しい娘がやってきました。

「巫女(みこ)様、わたし結婚しましたあ。彼が子宝のご祈禱しといでんって言うもんで、お願いしちゃうます」

「ほーいほいほい、まかしま。さあどんどん岩の上ののるのじゃ」

それから一年が過ぎ、娘はお母さんになりかわい赤ちゃんを抱いてやって来ました。

「お山の神様のおかげでこんない子が授かりました。彼がお礼に行つといでんって言うもんで、来ました」

「ほーいほいほい、ええ子じゃのう。この杖を使ってどんどん岩の腹をたたいてみり」

お母さんがたたくと、ドゥウウウン、ドゥウウウン、ドゥウウウン。どんどん岩の腹の中の不思議な世界に響いていきました。

「ほーい、どんどん岩が喜んでるわ。丈夫な子になるぞ」

若いお母さんはうれしそうに帰って行きました。どこかでヒメハルゼミが鳴き出しました。

縄文時代より古墳が50以上も造られたこの地域は、丹(赤・仙人・神)野(平らな所)と呼ばれ、山岳信仰の聖地であったようです。頂上にあるストーンサークルは結果で、特に神聖な場所です。どんどん岩はストーンサークルの東南にあり、安産子宝信仰の他に、宝の埋蔵所とか、古墳と言われています。

◆2月号の答え

2月号クイズまちがいがし(とがみやま)の当選者
応募総数80通
正解者 66人
当選者敬称略・50音順

三谷町 稲垣達征
形原町 小田愛華
府相町 加藤佑佳
八百富町 季原富子
清田町 小林千春
大塚町 杉浦幸子
本町 富永侑利
形原町 古川みはる
竹谷町 孫六琴美
一色町 山本つや子

おめでとーございませう。賞品は4月初旬に発送します。

